

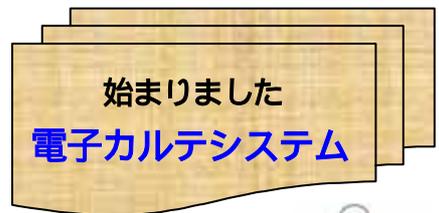
広島市立安佐市民病院広報紙

- 第9号 -

〒731-0293 広島市安佐北区可部南二丁目1-1

TEL : 082-815-5211 (代)

<http://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp>



安佐市民病院では、医療の質の向上および患者サービスの向上などを目的に、平成17年12月1日(木曜日)より電子カルテシステムが稼動しました。

◆ 電子カルテシステム運用開始

当院では12月1日に電子カルテシステムの運用が始まり、予約制・受付票の変更なども今までと大きく変わりました。

事前に十分に準備をしてきたつもりですが、不慣れな部分もあり、皆様にはご迷惑をおかけし、この場を借りておわび申し上げます。

◆ 名前は「あさ太郎」

私たちはこのシステムを「あさ太郎」という愛称で呼んでいます。

安佐地区のみならず多くの患者様に安心の医療を提供し親しんでいただけるシステムとなるようお願いをこめて名付けられました。

◆ 患者様からの「指摘」「質問」

「画面を見ての診察や医療行為が増えている。大丈夫だろうか。」

『患者様を見る(診る)』というのは

◆ お褒めの言葉

「外来待ち時間が減りました。」

診療上とても大切なことと考えます。残念ながら、現時点ではご指摘の通り画面を見る時間が長く、患者様の方を向いてお話をしている時間が減っています。

しかし、私たち医療スタッフは、少しずつコンピュータ操作、運用にも慣れ、以前と同じような状態に近づこうと努力しております。さらに私たちは電子カルテシステムの利用により、より精度の高い医療の提供を目指しています。

原則全面予約制への移行、ネットワークを介した検査・薬品などの依頼情報の伝達、会計情報の自動取り込みなどにより、患者様をお待たせする時間が少なくなり喜ばれています。それに関連して駐車場待ちも短くなっております。

また、自動入金機が導入され、時間外での会計も可能になりました。

「病院内で次にどこに行ったらいいか分かりやすくなりました。」

再来受付機から発行される受付票と患者様に渡される基本スケジュール表には、患者様の診療予定が示されています。

また、診察室や中央処置室、会計

近くには外来案内表示板で患者様の受付番号やお知らせを表示し、静かでプライバシーにも配慮した環境としました。

「自分の病気が分かりやすくなりました。」

診療録(いわゆるカルテ)は原則日本語での入力となり、患者様にも読みやすくなりました。

検査画像、グラフ表示などを瞬時にディスプレイに展開することも可能となり、患者様には分かりやすく診療データが提供できるようになりました。

また患者様への説明用端末には2つのディスプレイを接続し、より患者様への情報提供に配慮した設計としました。

◆ 目的は同じ

いくら先進のシステムが入っても私たちの目的は変わりません。すなわち「愛と誠」の精神で患者様に安心の医療を提供することです。電子カルテシステムは目的を達成するための「道具」に過ぎないと私たちは考えており、システムに慢心せず安定稼働と運用に磨きをかけていくつもりです。



健康な心と体はお口から

お口の健康を守る

あなたのお口は健康ですか? 『と質問されたとしたら、皆さんは自信をもつてはいく』と答えられるでしょうか? 厚生労働省により行なわれている

『二十一世紀における国民健康づくり運動(通称「健康日本二十一」)では制圧すべき疾患として、糖尿病・循環器病がんとともに**歯科疾患**があげられています。

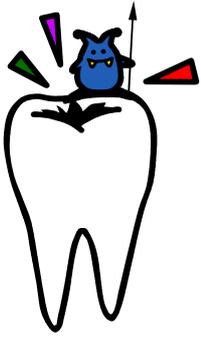
広島市でもこれを基にした『元氣じゃけん広島二十一』を発表しています。

歯科疾患を予防・制圧し、お口の健康を守る事は、全身の健康の維持・増進に加え、病気の予防にもつながり、よりよく生きていくために欠かすことのできない重要なライフワークだと

「ええ、そうですね。」

歯科シリーズ

No.1



口(口腔)ってなあに?

では、私たちはそのためにどんな事を知り、どんな事に気を付けていけばいいのでしょうか。

口(口腔)とは、消化管の上部を占める空間であり、発声器および味覚器としても働き、時には気道としての働きもします。これらの働きには歯・歯肉・歯槽骨をはじめ、口唇・口蓋(上あご)・舌・唾液腺・顎骨・顎関節などいろいろな器官が関係しています。これらの器官が共に協調して働くためには筋肉も重要な働きを担い、全てが人間にとって欠かす事のできな**「食べる」「話す」「味わう」「息をする」**という非常に大きな役割を果たしています。人は生まれてすぐ哺乳をし、人生の最期を迎えるときには好きな物を口にくい、お別れの言葉を残すことを望むでしょうか。日々の暮らしの中でお口の周辺の筋肉を動かすことにより、いろいろな表情で感情を表します。



歯を大切にしましょ

加齢に伴う口腔機能の低下は避けられないことですが、歯数を守る歯をなるべく多く残すことが機能がより健全に保つ秘訣となります。

歯の喪失原因の約9割は「蝕」と歯周病です。

これらの発症の原因となる重要な因子として口腔内の微生物により形成されるデンタルプラーク(歯垢)が挙げられますが、デンタルプラークは歯磨きにより除去が可能です。しかし、多くの方が毎日歯磨きをし、いろいろな商品が宣伝され、店頭ですらりと並んでいる現代でも、未だ予防できずに喪失原因の9割を占めているのが現状です。



ここで**必要なことは、家庭でできる自己管理(セルフケア)**と**専門家による支援と定期管理(プロフェッショナルケア)**が正しく行われることです。かかりつけの歯科医を決められ、お口の健康管理をされるようをお勧めします。

「口」が正しく行われてい、口頭の質問に対して自信をもって「はい」と答えて頂けると思っています。

ぜひ正しいケアを知っていただき、実践して頂くようにより、より良い生活を送って頂く

頂きたいと思っております。

薬剤部紹介

皆さんは病院で働く薬剤師は何をしてるかご存じですか？
 私たち病院薬剤師は患者様の安全で有効な薬物療法の確保を
 目指して、調剤以外にも様々な業務を行っています。
 その一端をご紹介します。

調剤

医師の発行する処方箋についてその内容に問題はないか、薬は適正な量を適正に使用するよう記載されているか、相互作用(薬の飲み合わせ)や副作用の可能性はないのか等をチェックし、患者様おひとりおひとりのお薬を調製します。



製剤

調剤のための準備としてあらかじめお薬を調整したり、患者様個々の状況に合うよう市販されていない薬を製造します。

特殊な技術や知識を有し、特に無菌的に厳重な管理の元に製造する特殊製剤もあります。最近では特に毒性の強い抗癌剤の調製において患者様個々の治療歴もチェックし、適切な組み合わせや投与量を管理しながら調製する業務が患者様の安全を守るためにも高く評価されています。



医薬品の管理

医薬品の試験業務やデータの管理による品質の確保と適正な在庫の管理により有効性の高い薬剤を安定供給します。

医薬品情報の管理

医薬品を安全に正しく使用していただくためには医薬品の情報を適切に評価し、適切な使用をおすすめします。
 反乱する医薬品情報を整理し、その内容を評価して医療スタッフや患者様に提供することも薬剤師の重要な仕事です。



臨床薬剤業務

病棟において入院患者様の薬物療法を実地に管理するのが臨床薬剤業務です。他院からの処方内容も評価管理いたします。

患者様の薬物療法上の問題点について医師および看護師と協議し、患者様には正しい薬の使用について案内し、不安の解消等も図っています。

また、投与された薬剤の体液中(主に血中)の濃度を測定することにより患者様個々に適した投与法・投与量を推奨し、有効性と安全性を確保しています。



治験管理

動物実験を経て有効性と安全性が確認された医薬品も最終的には人において実証されなければなりません。実際に患者様にご協力をいただいてデータを集積したり、新たな効果を確認したりすることを治験といいます。正しいデータを得るために患者様には制約が生じたり、一定の約束事が生じるかも知れませんが決して無理強いするものではありません。

治験にご協力いただき、より有用性の高い医薬品の開発に携わる事も薬剤師の業務となっています。

お薬のことはお気軽に病院薬剤師にお尋ね下さい

花粉症の季節です



くしゃみ、目のかゆみや涙、水のように流れ出る鼻水...この時期はとっても辛いですね。

「花粉症」この言葉が聞かれるようになって、すでに20年あまりたち、現在は日本人の約20%が花粉症だといわれています。



花粉症とは

花粉症はスギやヒノキなどの植物の花粉が原因となって、くしゃみ・鼻みず・はなつまりなどのアレルギー症状を起こす病気です。1年中同じようにある通年性あるいは慢性の「アレルギー性鼻炎」に対し、植物の花粉がきっかけで起きる季節性の「アレルギー性鼻炎」が「花粉症」と呼ばれています。

鼻の症状だけでなく、目の症状(かゆみ、なみだ、充血など)を伴う場合が多く、その他にノドのかゆみ、皮膚のかゆみ、下痢、熱っぽい感じなどの症状が現れることがあります。



アレルギーを起こすメカニズム

そもそも人間の体内には、外部から入る細菌やウイルスに対して、白血球やリンパ球がこれらを異物と認識して撃退するメカニズムがあります。「免疫システム」と呼ばれる、このメカニズムが本来のバランスをくずし、外部からの刺激に過剰に反応して起きるのがアレルギーの様々な症状です。

花粉症の場合、スギ、ヒノキなどの花粉のように人体にそれほど害のないものの侵入に対して白血球などが強く反応する免疫システムが働き、その結果くしゃみや鼻水、涙でアレルギーを起こす物質を追い出そうとし、同時に鼻や目の炎症などを引き起こすのです。

花粉症の原因

主な原因植物としてスギ、ヒノキ、カモガヤ、オオアワガエリ、ブタクサ、シラカバなどが上げられていますが、日本では約60種類の植物により花粉症を引き起こすと報告されています。

地域、時期によって花粉の飛散状況は異なり、さらにその日の天候、湿度によっても少しずつ違います。

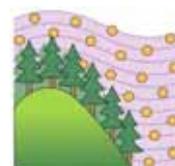
花粉症情報の要注意日

- 1) 天気：晴れまたは曇り
- 2) 最高気温が高い
- 3) 湿度が低い
- 4) やや強い南風が吹き、その後北風に変化したとき
- 5) 前日が雨



花粉症の防止

まずはなるべく花粉が体に入らないようにする工夫や注意が大切です。そのためには以下の点に注意しましょう。



外出を控えめに

花粉の飛散の多い日は特に注意が必要。1日のうち飛散の多い時間帯(午後1時~3時頃《注:地域によって

差があります》)の外出もなるべく控えましょう。



花粉情報に注意し、花粉が多い日の外出はなるべく避ける。

ドア・窓を閉める

こまめに花粉の侵入を防ぐことも大切なポイント。気をつけましょう。

外出したら、洗顔やうがいを

体に付いた花粉はきちんと洗い流すことを毎日の習慣として心がけましょう。



洗濯物、布団にも注意を

花粉が付着し、寝ている間の症状悪化につながる可能性があります。外に干した洗濯物や布団は花粉をよく落として。



外に干した洗濯物は、花粉をよく落とす

外出時は完全防備

帽子・メガネ・マスク・マフラーを身につけて。コートもツルツルした素材を選びましょう。

玄関でシャットアウト

衣服・ペットなどについた花粉は玄関でシャットアウト。なるべく室内に持ち込まない工夫と努力を。



衣服・ペットなどにつ着した花粉を室内に持ち込まない



花粉症の治療

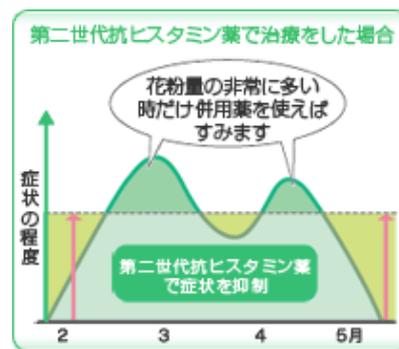
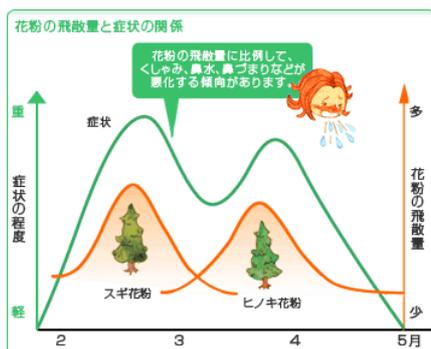
花粉症の治療は重症度、病型によって異なります。医師とよく相談しながら治療をはじめましょう。

花粉症治療の中心になるのは薬物療法で、使用する時期や症状に応じて「初期療法」「導入療法」「維持療法」が行われます。

花粉症などのアレルギーは、症状が悪化すると薬が効きづらくなります。軽いうちに薬を使い始めると、花粉の飛散が多くなった時期でも症状をコントロールしやすく、そのシーズンの症状を軽くすることができます。

花粉の飛び始める2週間くらい前から症状を抑える薬(抗アレルギー薬)の服用を始め、シーズン中も継続するとより高い効果が期待できるといわれています。初期療法には、主に第二世代抗ヒスタミン薬などの抗アレルギー薬が用いられます。症状が重い場合には点鼻薬などが併用されます。効果の高い第二世代抗ヒスタミン薬を用いれば、併用薬の量、期間を少なくする効果が期待できます。

くすりの名前	使われる時期・症状	効果が現れるまでの時間
遊離抑制薬	初期・症状の弱いとき	2週間
抗ヒスタミン薬 (抗アレルギー薬)	くしゃみ・鼻みず型	第一世代: 10~20分
		第二世代: 1~2日
血管収縮薬	鼻づまり型	数分
局所ステロイド薬	症状の強いとき	1~3日



人間ドックについて

人間ドックのおすすめ



私たちの体は、30歳頃から急速に老化が進みます。自分では気づかないうちに進行する**生活習慣病(がん・心臓病・脳卒中など)**は、**予防**につとめ、**早期発見**、**早期治療**が大切です。そのためには皆様が関心を持って、定期的に健康診断を受けることが必要です。

当院では多忙な方々のために、日帰りのできる健康診断「**1日人間ドック**」を予約制により実施しています。健康で生きがいのある人生を送るため、どうぞご利用ください。

- 予約先** : 事務室医事係 人間ドック担当
TEL 082-815-5211 内線 2271
- 実施日** : 火曜日～金曜日 (ただし、休日、12/29～1/3 及び 8/6 を除く)
- 料金** : 37,800 円 (子宮がん検診併施 41,700 円)

このほかに当院では、人間ドックの他にも、生活習慣病予防健診、脳ドック、肺ガン検診などの各種検診を行っています。是非ご利用ください。(生活習慣病予防健診につきましては、政府管掌保険の加入者のみが対象となり、健康事業財団への申し込みが必要です。)

ご不明な点がございましたら、**事務室医事係(内線2270、2271)**までお問い合わせください。

安佐市民病院は
病院機能評価認定病院 です。



安佐市民病院の 理念と基本方針

理 念

- ・愛と誠の精神をもって医療を提供します。
- ・地域の基幹病院として高度の医療・ケアを行います。

基本方針

1. 患者さまの立場を尊重し、理解と納得 にもとづいた医療を行います。
2. 安全な医療と快適な療養環境の提供に努めます。
3. 地域と連携し、地域医療、救急医療、トータルケアの水準の向上に努めます。
4. 最新の医療にとりくみ、医療・医学の進歩に貢献します。
5. より良い医療サービス提供のため、健全な病院運営に努めます。